

平成30年第5回中津川市議会「定例会」
一般質問通告表

平成30年12月7日(金)・10日(月)

質問日	順序	質問事項	質問者	答弁を求める者	発言所要時間 (質問方法)
12 月 7 日	1	1. 苗木城跡及びその周辺の整備と歴史や文化を活かしたイベントの開催について 2. リニア開業と高齢化社会に向けた2次交通の整備について	鈴木雅彦	市長 生活環境部長 教育長 文化スポーツ部長 商工観光部長 リニア都市政策部長 基盤整備部長	20 (一問)
	2	1. SDGs (エスディーズ) について	田口文数	市長 総務部長 財務部長	20 (一問)
	3	1. 外国人増加の対応について	勝彰	各部長	25 (一問)
	4	1. 市有財産(施設)運用管理マスタープランについて	牛田敬一	市長 財務部長 基盤整備部長 病院事業部長	25 (一問)
	5	1. 地域要望について	粥川茂和	市長 副市長 総務部長 財務部長 定住推進部長 農林部長 文化スポーツ部長	40 (一問)

12 月 10 日	6	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中津川市財政計画について 2. 平成31年度当初予算について 	吉村久資	市長 教育長 総務部長 財務部長 リニア都市政策部長	40 (一問)
	7	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市等の施設での「太陽光発電」の設置について 2. 「葉山嘉樹」「島崎藤村」の宣伝について 3. 産業遺産の観光資源としての活用について 4. リニア新駅における「河川」について 	佐藤光司	市長 副市長 生活環境部長 リニア都市政策部長 商工観光部長	35 (一問)
	8	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確定した総合計画・中期事業実施計画について 2. リニアのまちづくりは、中止を！ 3. 坂下病院一般病床の復活を！—市民の願いは公立病院など医療の充実 4. リニア区画整理事業地域内の千旦林川について 	木下律子	市長	40 (一問)

鈴木 雅彦

1 苗木城跡及びその周辺の整備と歴史や文化を活かしたイベントの開催について

今年も、苗木城跡を訪れる観光客は、更に増えているように感じます。

また、苗木城跡及びその周辺で、新たなイベントも行われました。

今年、新政会でも、政務活動費で、一つ（2講座）の研修と4カ所の先進地視察をしてきました。

歴史・文化と伝統をいかに活用するのか、また、意欲のある方々の意見・活動をいかに受け入れ支援しているかという観点での視察でした。

高度成長期からバブル崩壊を経て、地方自治体の在り方に大きな変化が求められました。「平成の合併」がその一つであったかどうかは別として、日本経済及びその基盤が変化していく中、変化せざるを得ないのが現実のような気がします。

視察をさせていただいた各先進地は、そうした時代の変化するなかで、なにが大事か、なにが魅力か、様々な手段でそれを見つけ、積極的に官民協働で磨き上げていかれたように思います。

そうした感想を含めながら、質問させていただきたいと思います。

(1) 苗木城跡及びその周辺の整備について

青山市長が市長に就任されてから、これまで苗木城跡及びその周辺について、多くの整備をされてこられました。

その結果、また、城ブームといった時代の流れから、大変多くの方々に訪れていただいているところであります。その効果もあり苗木城跡及びその周辺に係わり、多くの方々がボランティア等様々なかたちで、その盛り上げに協力していただいております。

そうした取り組みをすることで、また新たな魅力を皆さんが見いだされます。それが新たな事業に発展していくこととなります。そうすると、行政としての新たな支援をいただかなければならない事象が出てきます。

先進地が成功している「鍵」は、この好機を逃さなかったことであります。

① 苗木城跡及びその周辺でのボランティア活動の状況について、どのように見られておられますか、

② 苗木城跡及びその周辺を活かすための好機は今だと思いますが、いかがでしょうか。

③ 先進地が成功している「鍵」のもう一つは、そこで活動をする人達が動きやすいように、やりがいを持てるように、行政が支援・協働していましたが、いかがでしょうか。

④ さくら公園までの道路、上水道・下水道の整備についてのお考えは、
どうでしょうか？

⑤ 苗木城跡(武家屋敷含む)及びその周辺の散策道の整備についてのお考えは、どうでしょうか？

⑥ 各種イベントに対応できるように上水道・下水道の整備についてのお考えは、どうでしょうか？

(2) 歴史や文化を活かしたイベントの開催について

① 春期・秋期における野点の定期的開催はいかがでしょうか。

② 的場、二の丸を活用した弓道大会はいかがでしょうか。

③ 木の葉を利用した恋文発信はいかがでしょうか。

2 リニア開業と高齢化社会に向けた2次交通の整備について

リニア中央新幹線対策特別委員会で、11月21日、富山県黒部市へ「黒部宇奈月温泉駅周辺地区都市再生備事業」について視察させていただきました。事業の概要、地域経済への影響等と課題、用地取得に係る問題点及び解決方法観光への波及効果についてご講義いただいた後、駅周辺現地視察させていただきました。

旧来からの中心市街地、宇奈月温泉及び本社機能が移転したYKK工場への2次交通アクセスの整備、駐車場の整備に特徴がありました。今後、現状からいかにしていくかが課題でもあるとのことでした。また、5年後までに解放される関西電力所有・管理の黒部第4ダムまでの交通アクセスを活用した観光開発が、今後の重点であるとのことでした。

リニア岐阜県駅の地勢的環境、観光産業のみならず各種産業への波及効果を最大限に引き出すための2次交通の構築とその基盤整備を早急に進めていくことが必要と考えます。

- ① 具体的な検討は、されていますか。
- ② 高齢化社会に対応した、交通手段の対策を考えておられますか。

発言通告に基づきまして、一般質問をさせていただきます。

今回は、SDGs（エスディーゼイズ）について、質問をさせていただきます。

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

MDGsは、極度の貧困と飢餓の撲滅など、2015年までに達成すべき8つの目標を掲げ、達成期限となる2015年までに一定の成果をあげました。その内容は後継となる持続可能な開発のための2030アジェンダ「取り組むべき検討課題や、行動計画」に引きつがれています。

- 目標 1（貧困をなくそう）
あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
- 目標 2（飢餓をゼロに）
飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
- 目標 3（すべての人に健康と福祉を）
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
- 目標 4（質の高い教育をみんなに）
すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。
- 目標 5（ジェンダー平等を実現しよう）
ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女子のエンパワーメントを行う。
- 目標 6（安全な水とトイレをみんなに）
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
- 目標 7（エネルギーをみんなに そしてクリーンに）
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを確保する。
- 目標 8（働きがいも経済成長も）

包括的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワーク（適切な雇用）を促進する

目標 9（産業と技術革新の基盤をつくろう）

レジリエントなインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進、およびイノベーションの拡大を図る。

目標 10（人や国の不平等をなくそう）

各国内および各国間の不平等を是正する。

目標 11（住み続けられるまちづくりを）

包括的で安全かつレジリエントで持続可能な都市および人間居住を実現する。

目標 12（つくる責任つかう責任）

持続可能な生産消費形態を確保する。

目標 13（気候変動に具体的な対策を）

気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

目標 14（海の豊かさを守ろう）

持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する。

目標 15（陸の豊かさも守ろう）

陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・防止および生物多様性の損失の阻止を促進する。

目標 16（平和と公正をすべての人に）

持続可能な開発のための平和で包括的な社会の促進、すべての人々への司法へのアクセス提供、およびあらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度の構築を図る。

目標 17（パートナーシップで目標を達成しよう）

持続可能な開発のための実施手段の強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

① 2016年5月に、安倍総理を本部長とするSDGs推進本部が設置されました。また、平成30年度の国の予算にも、自治体SDGsのモデル事業が盛り込まれております。

平成30年2月26日～3月26日にSDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業の選定について募集がありましたが、申請をされましたか、お伺いします。

②中津川市として、現在SDGsにどのような認識をお持ちなのか伺います。

③政府の実施指針では、SDGsを全国的に実施するため、地方自治体及びその地域で活動するステークホルダー（企業・行政・NPO等の利害と行動に直接・間接的な利害関係を有する者を指す。）による積極的な取り組みを推進することが不可欠であり、各地方自治体に、各種計画や戦略、方針の策定や改定に当たっては、SDGsの要素を最大限反映することを奨励するとしております。中津川市の総合基本計画等の改定作業に際し、また、各種計画にSDGsの理念を反映させていくことへのご所見をお伺いいたします。

④中津川市内に、SDGsを推奨している企業、民間団体などはありますか、お伺いします。

⑤先日、リニア対策特別委員会で石川県白山市の車両基地を視察に伺いました。白山市庁舎には、SDGs未来都市、モデル事業の垂れ幕がありました。白山市では、人口減少や少子高齢化の進行による地域経済や地域社会の縮小を克服し、持続的発展の実現をめざし、平成27年10月に「白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に取り組んでいます。中津川市は今後、リニアによるまちづくりの開発、そして観光、伝統文化の歌舞伎など残さなくてはならないものがあります。中津川市SDGs推進本部会（仮称）なるものを立ち上げてはどうか、お伺いします。

外国人増加の対応について

今年になってから、私の家の横の道を若い外国人が、朝に夕に頻繁に通るようになりました。近くには元雇用促進住宅であった大きなアパートが2棟、少し離れた所には民間の大きなアパートが3棟あり、小さなアパートも数多くあります。我が家は、南側と北側にある2つのスーパーマーケットの中間にあります。

近くの中小的工場では、従業員募集をしても地元の人々の応募はないと困っています。最近では、小さな事業所でも東南アジアまで出掛け、外国人を雇い、乗り切っています。外国人を採用すると、仕事の指導・世話だけでなく、住居の世話・日常生活の細かな世話までしなければならなくて大変だと聞きました。また、私の周りの地域で、今までになかったことや戸惑うことがたびたび起きています。

政府は、働く世代の急激な減少から出入国管理法の改正をしようとしています。5年後の深刻な人材不足を見込み、介護業・産業機械製造業・外食業・建設業・農業など14業種での単純労働者として、外国人の受入れに踏み切りました。この法律の影響や不安などがたくさんありますが、国会での議論を見守りたいと思います。

中津川市内の外国人の現状、出入国管理法改正を想定した中津川市としての対応を考えなければならない時だと思っています。

(1) 中津川市の外国人に関わる現状について

- ① 中津川市内の5年間の外国人人数の推移についてお伺います。
- ② 推移の特徴的なことについてお伺います。(人数の変化、来ている国の変化、年代、目的など)
- ③ 住民登録している人数及び国民健康保険の加入者数についてお伺います。

(2) 市内事業所の人材不足の現状について

『ハローワーク中津川』10月号の有効求人倍率の推移をみますと、昨年の9月から今年の9月までの1年間、昨年10月を除き、1.8以上です。特に、今年の7月から9月までの4ヶ月間は、2.0以上が続いています。(県内1位)「従業員を募集をしても地元の人には来ない」という小規模経営者の悩みがよく分かります。

市内の各事業所での人材不足の状況について、お尋ねします。(確定数でなく、推定数でもいいです。)

- ① 介護業での求人の状況、人材不足の状況についてお伺います。
- ② 製造業での求人の状況、人材不足の状況についてお伺います。

- ③ 建設業での求人の状況、人材不足の状況についてお伺います。
- ④ 外食業での求人の状況、人材不足の状況についてお伺います。
- ⑤ 市内事業所のこうした人材不足の状況にどう対処していくか、真剣に考えなければならない時です。市役所として、どう打開していくか基本的な考え方・施策についてお伺います。

(3) 外国人に関わる諸問題について

中津川警察署に市内在住の外国人が関わった事件について、聞いてみました。この1年間では、小さな事件が数件、起きているとのことでした。外国人の数が増えればどうなるか、市民の皆さんも不安だと思います。

- ① 私の近くでは、夜の無灯火の自転車運転や二人乗りなどの交通ルール無視、また外国人だと断定は難しいですが、畑の野菜の盗難、家の庭にゴミや空き缶などのポイ捨てなどが起きています。市民からこのような苦情やトラブルはありますか。
- ② 外国人の方も異国の地に来て分からないことばかりと想像されます。外国人からの問合せや相談はありますか。
- ③ 不当な待遇で働かされている情報や相談はありますか。
- ④ テレビのニュースでみたことですが、外国人が帰国してからお産したり大きな手術して多額の保険金支払いの請求があるとの報道がありました。中津川市ではこうしたこと起きていませんか。
また、国民健康保険証の成りすまし使用、また貸し使用はありませんか。
- ⑤ こうした諸問題への対応は、各関係機関の連携も必要となってきますが、どう取り組みますか。

(4) 中津川市として、今後の外国人の受入れについて

外国人の増加は様々な課題がありますが、避けて通れないのが現状です。外国人を単なる安価な単純労働者人として考えるのではなく、『1人の人間として温かく受け入れる異文化共生社会を築く』という考え方が大切だと考えます。

- ① 中津川市として、急いで指針やきまりをつくり対応する考えはありますか。
- ② どこの部署が担当し、どのような内容を考えていますか。

外国人の受入れについては、まだ賛否両論がありますが、これからは異文化と共生できる国際的な感覚の醸成は重要であり、異文化受入れの指針『中津川市外国人受入れ指針』を早急に作成されることを願います。

1. 市有財産（施設）運用管理マスタープランについて

【背景】

中津川市および中津川市と合併した各町村では、それぞれ地域の特色を活かした振興策や活性化策の取り組みにより、昭和 40 年代以降に多くの公有施設を整備してきた。しかし、近年の人口減少や少子高齢化といった人口構造の変化により施設の需要も移り変わっている。また、市有施設の多くが設備の老朽化などの課題を抱えている。多くの市有施設を所有することは、施設の維持管理および更新に必要な経費の増加につながる。長引く経済の低迷による厳しい財政状況の中で現在の市有施設全てを維持していくのは困難であり、合併後の市域全体を見渡した市有施設の再編と効率的な運営についての検討が求められている。

【市有財産（施設）運用管理マスタープラン策定の目的】

中津川市の市有施設の現状と問題点、市民ニーズを把握した上で、最適な市有施設の配置を明らかにするとともに財政計画に基づき、平成 26 年度現在の維持管理経費の 31 億円を平成 32 年度には 25 億円にするという、6 億円の削減目標を実現するための計画を策定することとした。

地方交付税の減少を見据えて市有施設の再編と効率的な運営を求められていると理解しており、平成 28 年 9 月・昨年 6 月の一般質問でも市有財産（施設）運用管理マスタープランの進捗状況を確認したところで、その後、どのような状況になっているのか伺いたいと考えます。

(1) 進捗状況について

- ①削減目標 6 億円に対する現在の削減額を伺います。
- ②計画通りに進んでいない場合、何が要因となっているのか伺います。
- ③その要因をどのように対策するのか伺います。
- ④今後、進捗を早める考えはありますか。

(2) 維持管理費の内訳について「市有財産（施設）運用管理マスタープラン 12P」

- ①内訳の中で、委託料が最も多く約 9 億 6000 万円発生していますが、内容を伺います。
- ②委託料を減らす取組みについて伺います。
- ③光熱水費を減らす取組みについて伺います。

3. 中津川市市有施設の課題

3.1. 財政上の課題

3.1.1. 市有施設の維持管理費、借地料

市有施設の維持管理にかかる費用は、平成 23 年度の年間総額で約 31 億円になる（図 3-1、表 3-1 参照）。この維持管理費には大規模改修や建替えの費用は含まれていないので、老朽化した施設の更新にはさらに費用がかかる。

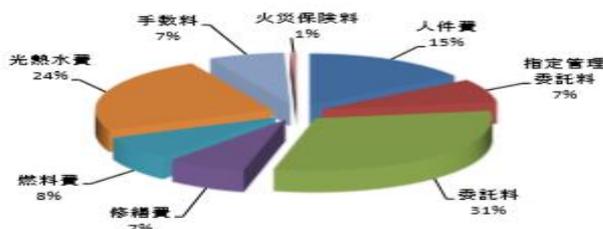


表 3-1 維持管理費の内訳

項目	金額
人件費	471,327 千円
指定管理委託料	227,600 千円
委託料	959,173 千円
修繕費	223,632 千円
燃料費	233,454 千円
光熱水費	738,109 千円
手数料	218,888 千円
火災保険料	17,367 千円
合計	3,084,857 千円

出典：平成 23 年度予算

図 3-1 維持管理費の割合

(3) 維持管理経費の比較について「市有財産（施設）運用管理マスタープラン 12P」

表 3-2 他の自治体との比較

自治体名	維持管理費	(当市との比較)	市民1人当たりの維持管理経費	(当市との比較)
中津川市	34億円		42千円	
恵那市	24億円	▲10億円	44千円	2千円
瑞浪市	17億円	▲17億円	43千円	1千円
土岐市	20億円	▲14億円	33千円	▲9千円
多治見市	37億円	3億円	33千円	▲9千円
南アルプス市	14億円	▲20億円	20千円	▲22千円
伊那市	16億円	▲18億円	22千円	▲20千円
京丹後市	22億円	▲12億円	37千円	▲5千円

出典：平成 22 年度決算統計

- ①中津川市の一人あたりの維持管理経費は、比較的高い状況であります。
現在、どのような状況か伺います。
- ②他の自治体の状況を伺います。
- ③自治体を調査する経過において参考となる取組み事例がありましたか。
- ④施設を地域別に分類した場合の一人あたりの維持管理経費は、どのような傾向となりますか。

(4) 各施設等の問題点について

財政的な問題で予防保全を行うことは難しいと認識していますが、600もの施設の維持管理に取り組みされている中で、大規模な修繕を予測されているものと考えます。

- ①市民病院のトイレの排水が詰まると聞いていますが、把握されていますか。
- ②把握されていれば、暫定的な問題なのか、抜本的に修繕する必要があるのか伺います。
- ③他の施設での修繕の必要性を把握していますか。
- ④重要な施設に対する予防保全は、どのように行われていますか。

(5) 維持管理経費の削減について

今後、維持管理経費を削減する方針の中で統合・縮小や民間移譲・用途廃止などがあげられます。ある研修会で、維持管理経費を削減する有効な手段は、適正な維持管理を行い老朽化した施設を長く使い続けることだと聞きました。

- ①予防保全をすることで一時的に予算が必要となりますが、長い目で見た場合に効果が表れる施設等はありませんか。
- ②施設利用料の見直しにより、維持管理経費を少しでも賄うことができる施設はありませんか。

(6) 事業計画書のPDCAと展開スピードについて

平成 26 年 3 月に市有財産（施設）運用管理マスタープラン～市有施設見直し方針について～の資料を基に質問を行いました。その 93/203 ページに当時の策定委員会の構成が記載されていますが、現段階において、改訂されていないと認識しています。

- ①策定委員会は、計画の見直しを行うための重要な組織であると認識しますが、機能していますか。
- ②取り巻く環境が大きくそして早く変化するなかで、マスタープランも順応していく必要がありますが、見解を伺います。

以上

地域要望について

無会派 粥川 茂和

趣旨

市民と議会の対話集会は3日間9会場で開催され、議会への質問や執行部への働きかけの要請を受けた。

今回は私が出席した山口会場での問題について、以下質問する。

1. 空き家バンクの活用について

当市の空き家バンク登録件数は、当初からの6年間で23件であったが、本年に入り本稿作成時で30件と急増している。市は市内の不動産業者と協力し、対象物件を互いに登録し合う体制とし、全国空き家バンクへの登録も可能とした。

同バンクは当市への移住促進策の一環であり、利用者は入居するためのリフォーム資金の補助として、最大40万円の交付を受けることが出来る。リフォーム費用補助金だけを捉えると恵那、瑞浪市の100万円、多治見市の75万円には及ばないが、移住定住促進の施策は総合的に充実しており、昨年は某雑誌が企画した「田舎暮らし住みよさランキング」で東海地方3位の評価を受けた。

市のこうした努力に応え、各地域のまち協では同バンク登録のため調査を行っているが、今後多く発生すると予想される「見込み空き家」について、(賃貸や売却など)居住者や相続権者の合意により、予備登録しておけば早い対応が可能となる。

このことを制度化することについて、川上地域の市政懇のおり、まち協役員が提案したが執行部は応じなかったため、議員からの提案を要望されたものだ。

(1) 空き家見込み先の事前調査と、空き家バンクへの登録を「^{しょうよう}徳 憑」することについて

本件に関するまち協の意見は以下の通りである。

- ▶ 空き家調査は発生後の後追いとなるため、遠方在住の親族への問合せなど困難が多い。
- ▶ 地元衰退防止のため将来のバンク登録を勧め、居住者同意なら間取りや相続権者の連絡先などの調査は容易で、空き家となったら相続権者の了解で登録可能である。

本年 9 月定例会で私の一般質問に「空き家バンクへの登録件数増大は、地域の協力を得たい」と答弁があったが、本件について「そこまで考えていない」と市民の提案に応じなかった理由は？

2. みやさか活性化協議会の活動支援について

一昨年の山口地域市政懇で「みやさか地域」の活性化を支援するため、リニア担当部署に倣って「スマートインター部署」を設け、空き家対策などの対応を望む要望があり、地域おこし協力隊で対応するとの答弁だったが、現時点でそれほどの仕事量があるかは不透明で、有能な人材確保も課題と考えるが、具体にはどのように対応するのか？

3. JR 坂下駅について

中津川市は JR 坂下駅の乗車券販売に付き JR から業務委託を受け、坂下地域のまち協と業務委託契約を締結している。

市は同契約に基づき、H24 年度から補助金と JR からの乗車券販売手数料を坂下まち協に支払っていたが、予てからの約束や協議により 29 年度は補助金を半減し、30 年度からはゼロとした。

坂下地域まち協によると、乗車券販売に係る経費は、人件費約 200 万円と諸経費約 15 万円で、乗車券販売手数料約 100 万円の収入を充てても年間 115 万円前後の資金不足となる。

同会は乗車券販売手数料の増大で事態の改善を図るべく、山口坂下川上地域内で拡売運動した結果、手数料率の低い定期券の販売は大幅に伸びたが、普通乗車券に思ふような結果が出ていない。そこで 30 年度の不足額を同会の積立金を取り崩して対応するが、積立金は今年度で枯渇するため、来年度からの継続は困難と判断したと聞く。

対話集会では、本件に関する議会での議論の有無の質問と、補助金の継続の働きかけの要望を受けた。

(1) 当時の坂下駅の重要性について

坂下地域まち協の調査によると同駅の乗降客数は 800 人／日で、近隣の JR 駅では 3 番目に多いが、その重要性や乗車券販売に係る市の考え方について、坂下地域まち協に十分な説明がなされているか？

(2) 今日の坂下駅の重要性について

病院機能再編やリニア岐阜県駅決定など、6 年前に比べ坂下駅の位置づけが変わっている気がするが所見は？

- (3) H28 年 11 月 14 日本件に関する市と坂下まち協の打ち合わせ時、30 年度以降の提案として企業が募集する環境整備などのボランティア活動の助成金応募を提案しているが、なぜか坂下まち協では取り組みがなされていない。具体提案や指導を行ったか？
- (4) 多面的機能交付金の活用などの検討や提案は行ったか？
- (5) その他永続的な収入を得るための具体提案や指導を行ったか？
- (6) 市民団体との諸交渉について

きりら坂下、紅岩山荘、JR 坂下駅と市有財産マスタープランなどの交渉が成立しているが、民間移譲や指定管理後の運営状況は厳しいと聞く。

きりら坂下の現管理者である「きりら坂下運営協議会」は、管理料の減額を受け、今のところ再び指定管理の応募をしておらず、JR 坂下駅も契約期間満了を機に再契約をしない方向だ。

これらの契約は行政負担軽減のため、民間の力を借りて行政サービスを継続する目的であるが、この様な状況は、行政を補完し地域を元気にする地域自治組織との関係に於いて如何なものかと思ひ、市の考え方を質す。

平成30年第5回定例会一般質問

平成30年11月29日提出

吉村 久資

【発言内容】

1. 中津川市財政計画について

「質問要旨及び背景」

中津川市総合計画「中期事業実施計画」及び中津川市財政計画が策定されました。計画期間は平成31年度～平成34年度であり、それぞれが4年間の指針であります。中津川市財政計画にある記述事項について質問をいたします。

「質問」

- (1)公債費負担適正化計画に「中期における当市の重要性を考慮し、一定期間内の数値悪化は容認」との記述があります。財政の硬直化を招かない一定期間について説明および見解を伺います。
- (2)実質単年度決算に見る赤字のイエローライン、レッドラインについて伺います。
- (3)自主財源確保に関する記述にあります「金銭債権を確実に回収するための組織的取り組みを強化」について具体的考えを伺います。
- (4)財政調整基金枯渇対策として「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」が「一丁目一番地」と受け止められる記述があります。今以上に推進するプロジェクト組織も必要では？と考えますがいかがですか。
- (5)受益者負担の適正化に関する記述にあります「使用料金の減免のあり方や料金設定の統一的考え方に基づく適正な負担の検討と見直し」とあります。具体的行動計画と引き出しの中身（対象）について伺います。
- (6)実質公債費比率と地方債残高の見通しにおけるグラフの実質公債費比率の財政計画ライン（H30～H38の赤破線）が示す財政の健全化について、18%を下回っていれば良いのか？という観点から見解を伺います。

2. 平成31年度当初予算について

「質問要旨及び背景」

平成31年度の当初予算は、それぞれの計画の初年度となります。中津川市財政計画を踏まえた平成31年度単年度の当初予算について質問をいたします。

「質問」

- (1)平成31年度当初予算における編成方針について伺います。
- (2)編成方針に基づく主要施策、いわゆる事業の柱について伺います。
- (3)財政計画は、リニアのまちづくりの事業推進に重きを置いていますが、リニア関連についての平成31年度当初予算規模と事業について伺います。
- (4)財政計画は、平成31年度予算規模を374億円としていますが、想定している予算規模を伺います。
- (5)歳入の主要な財源である市税と地方交付税について、財政計画では97億円と112億円と見込んでいますが差異は発生しないのか伺います。

- (6) 市債発行額については 35 億円ルール内を想定して良いのか伺います。
- (7) 改めて平成 31 年度新規の大型事業があれば伺います。
- (8) 2019 年 10 月から導入が想定されている消費税率 10%の影響等について以下伺います。
- 財政計画の中では、地方譲与税・交付金などの見通しについて、「平成 30 年度当初と同額で推移する計画とする」。また、「今回は反映していません」とあります。とは言え、単年度の平成 31 年度当初予算において考慮しないわけにはいかないと考え質問いたします。地方消費税交付金の増額見込みについて伺います。
- (9) 地方消費税交付金の増額に伴う基準財政収入額への算入による影響について伺います。
- (10)平成 31 年度は早期発注が歳出の抑制につながると考えますが見解を伺います。
- (11)消費税率 10%とセット物に幼児教育無償化があります。現在、国に上乗せをして保育料の軽減化を中津川市は図っていますが、その事業費を伺います。
- (12)無償化により上述の事業費(市単独費)の削減分の流用(使い方)について伺います。
- (13)幼児教育無償化というと保育園の給食費の無償化もセットのように議論されます。給食費の無償化を実施している自治体もある中、中津川市の給食費の無償化についての見解を伺います。
- (14)平成 30 年度予算が多く平成 31 年度に繰越しされます。平成 31 年度当初予算において翌年度に繰越しが見込まれる事業は見込まれていないと考えますがいかがですか。
- (15)翌年度への繰越し過多の予算計上について、もっと精査された計上とすべきと私は考えますが、現在の手法について見解を伺います。

2018年12月議会

一般質問 一問一答方式

佐藤 光司

1 市等の施設での「太陽光発電」の設置について

太陽光発電は、自然界の力を再生エネルギーとして活躍しています。しかし、問題点も指摘されています。大規模発電による、自然破壊や農業灌漑用水への影響や、地域住民とのトラブル等も発生しています。設置する業者の誠意にも問題があることも指摘されています。

一市民から「本庁舎を始め、市民病院や、地域の事務所の駐車場を活用することはどうか」と提案を受けました。

太陽光パネルを載せる屋根等の部材の検討。地震・暴風雨に耐える部材の大きさや、駐車場としての機能も持たせなければなりません。学校施設での大規模改修での太陽光発電の屋根設置はよく耳にしますが、その他の市施設での活用について、又、考え方について一般質問を行います。（発電買取制度ではなくて、自家消費）

具体的な質問

- ① 幼稚園・保育園を含めた、学校施設での太陽光発電の実績はどうですか？
- ② 中消防署から見て南の駐車場で、屋根の上にソーラを設置し、下は駐車場として検討したらどうですか？

③ ②の結果を見て、市役所前の駐車場も検討されてはどうか？

④ 平成 24 年 5 月 29 日に「中津川市省エネ節電計画」が策定され、P28(3)

「太陽光発電施設の普及」を定め 2020 年度には年間発電量(試算)8,353 千キロワットと見込んでいますが今日時点ではどのようなになっていますか？

2 「葉山嘉樹」「島崎藤村」の宣伝について

10 月 14 日に「葉山嘉樹没後 73 周年碑前祭」が行われ、60 名ほどの参加者がありました。プロレタリア文学の先駆者でもあり、中津川市で生活もされ、奥さんの「菊枝さん」は、中津川市で育った（現在の新町）人と聞き及んでいます。

しかし、中津川市民にも葉山嘉樹や菊枝さんのことが十分知られていません。落合ダムの近くに「葉山嘉樹」の記念碑があるものの、市民に知られていません。

ましてや、市外・県外の人へも宣伝されていません。19 号からの案内看板も設置されていません。わずかに落合 5 号区の前に案内看板が設置されているのみです。

又、「島崎藤村」については、馬籠の観光名所として多くの人に知られています。しかし、中津川駅へ旅行者が到着したとき、「葉山嘉樹」「島崎藤村」のポスターもありません。著名な文学者として、多くの人々に宣伝することが必要と思います。

具体的な質問

- ① 図書館に、「島崎藤村」「葉山嘉樹」専門コーナーを設けたらどうですか？
- ② 国道 19 号（落合地区）に「葉山嘉樹記念碑」、「島崎藤村記念館」の両者の案内看板が必要と思いますがどうですか？
- ③ 島崎藤村、葉山嘉樹、両者のポスターを張り出したら観光誘客の一因となると考えますがどうですか？

3 産業遺産の観光資源としての活用について

富岡製糸場は、優れた産業遺産として登録されています。

中津川市においても、「中央線で活躍した D51 蒸気機関車」等は産業遺産だと考えます。今でも「D51」は、愛好者によって掃除や手入れが行われています。こうした産業遺産を見ていきますと、「北恵那電車」「木曾川にかかる北恵那電車の橋梁」、「落合ダム」を始めとした、今でも活躍していますダムや発電所など、多くの産業に係る観光資源があると考えます。

昔から言われてきました「競馬場」も産業遺産の一つと思います。駒場に位置し、現在の中津商業高校の第二グラウンド付近に「競馬場」があったと聞き及び見てまいりました。文献等はないそうですが、丘の上に上ると馬が走っている光景が想像されました。

具体的な質問

- ① 観光資源の磨きあげとして、交通関係の歴史を残してはどうかと思います
がどうですか？（例、交通博物館等）
- ② ①をリニアと一緒にすることはどうですか？
- ③ 「競馬場」は、産業遺産と思いますが、見解をお示し下さい。
- ④ ③で、産業遺産の場合、観光資源として磨きあげはどうですか？（例、「競馬場公園」構想等）

4 リニア新駅における「河川」について

リニア新駅における区画整理事業で、河川対策が説明されています。11月23日には、千旦林川の環境（魚類）調査の結果報告会が行われました。関係地区の方から問題提起を受けましたので、質問させていただきます。

具体的な質問

- ① 河床を含め、三方がコンクリートとなっているが、魚の生息が心配。
自然の生態・魚がすめますか？
- ② 河川の蛇行を解消し、直線としているが、自然の流れと異なる。洪水等は
大丈夫ですか？

1、確定した総合計画・中期事業実施計画について

中津川市総合計画・前期事業実施計画が今年度末で終了するのを受けて、中期事業実施計画が確定しました。

(1) 中期計画から後期計画に予定されている主な大型事業を区分ごとに質問します。

- ①リニア開業に向けた基盤整備の7事業の事業名と現段階でわかる整備費の総額を説明してください。
- ②人々がかがやくまちの8事業の事業名と現段階でわかる整備費の総額の説明をお願いします。
- ③安らく自然につつまれたまちの中～後期の5事業の事業名と現段階でわかる整備費の総額の説明をお願いします。
- ④活気あられるまちの1事業の事業名と現段階でわかる整備費の総額の説明をお願いします。
- ⑤4つの区分合計でいくらになりますか。

(2) 財政計画案について

- ①総合計画の中期実施計画を財政面から裏付けするもので必要なものと思いますが、いかがですか。
- ②総合計画と一緒に提案されましたので、公開されるものと思っていました。議員には公開されましたが、市民に公開されましたか。
- ③中期財政計画案は確定しましたか。いつ確定しますか。

中期財政計画案の結びには次のように書いてあります。

「特に、リニアのまちづくりについては他市にない特殊事情であり、リニア中央新幹線開業まで重点的に実施する必要があるため、本財政計画はかなり事業推進に重きを置いた計画となっています」

「継続的財源確保」「経常経費の徹底的な見直しによる削減」に重点的に取り組むことが最重要であり、事業推進と健全財政を両立させるためのカギはここにある。

「これまで以上に厳しい姿勢で取り組む必要があります」

「事業推進と健全財政の両立は大変厳しい道のりとなります」と。

具体的に伺います。

- ④人口減少、少子高齢化による「財源の先細りと財政需要の増加の懸念」について、今後の予想金額や解決策も含めて説明してください。
- ⑤普通交付税の減少「一般財源不足の恒常化の懸念」について、予想される金額や解決策も含めて説明してください。
- ⑥公共施設の維持管理費は「経費の高止まり、修繕経費負担の増加」について、金額や解決策も含めて説明してください。

- ⑦特別会計・企業会計への繰り出し金等 「一般会計への負担は限界」について、同じく金額や解決策も含めて説明してください。
- ⑧人件費と物件費の「縮減の限界」について、金額や解決策も含めて説明してください。
- ⑨扶助費の「社会保障負担増に伴う増加懸念」について、金額や解決策も含めて説明してください。
- ⑩公債費の「縮減の限界」について、金額や解決策も含めて説明してください。
- ⑪財政調整基金枯渇の恐れについて、金額や解決策も含めて説明してください。
- ⑫中・後期における投資的事業「財政需要はしばらく高い水準で推移」について、どのように予想されるか金額も含めて説明してください。
- ⑬厳しい財政状況で莫大な予算をつぎ込む「リニア新幹線の開業に向けての基盤整備」です。中津川市の財政力以上の基盤整備・大型事業になっていると思いますが、いかがですか。
- ⑭前期財政計画と中期財政計画案の平成30年度を比較すると、中期財政計画の方が財政規模が大きくなっている。総額では前期が342億円、中期は371億円と約30億円で中期の方が多い。財政の見通しは明るくなったわけではないのに、財政規模が膨らんでいます。大丈夫ですか。

2、リニアのまちづくりは、中止を！

市民の意識を知るのに市民アンケートは有効な方法だと思います。

- ①中期計画を作成するにあたって、アンケートを実施されていますが、「リニアのまちづくり」について市民がどう思っているのかお聞きになりましたか。
- ②中津川市総合計画を策定される時にアンケートを実施されました。平成25年度8月実施のアンケートの結果があります。リニア関連4項目は全体の必要性スコアでは51項目中48番目、49、50、51番目です。市民ニーズについてリニア関連は46番目、47、48番目、51番目になっています。この結果でいいですか。
- ③日本共産党中津川市委員会として市民アンケートとして15000枚超えて、市民の皆様のお宅にお届けし、郵送で返していただきました。800人を超える方々からご協力がありました。

リニア新幹線について、「必要か」との問いに、必要が17%、必要でない53%、わからない23%、その他7%という結果でした。

リニアのまちづくりについて、必要が16%、必要でない57%、わからない17%、その他10%という結果でした。

市政で取り組んでほしい施策では、21項目中リニアのまちづくりは下から3番目という結果でした。この結果からみれば、リニア新幹線建設もリニアのまちづくりも「必要ない」が市民の世論ではないでしょうか。

この結果についてどのように思われますか。

- ④これらのアンケートの結果からみて、はたして「リニアのまちづくり」は市民の願い

なのだろうか。アンケートの結果からみれば「ノー」です。

このまま、確定した総合計画の重点施策である「リニア開業に向けた基盤整備」を進めることは住民の願いとはかけ離れていくのではないのでしょうか。いかがですか。

- ⑤今からでも遅くないので、リニア新幹線建設もリニアのまちづくりについても、中止するべきと思いますが、いかがでしょうか。

3、坂下病院一般病床の復活を！一市民の願いは公立病院など医療の充実

私たちのアンケートで取り組んでほしい施策で多い順に言いますと公立病院など医療の充実、高齢者福祉・介護の充実、地域交通対策、国保料の引き下げ、子育て支援の充実等、自然環境の保護、障害者・児支援の充実等です。

公立病院など医療の充実が市民の望む施策で最も高い。やはり命と健康が何より大切という市民の気持ちの表れだと思います。

医療の充実を願う方が最も多いという私たちのアンケート結果だけではなく、平成25年に実施された総合計画策定時に中津川市が実施されたアンケートの結果でも必要度スコアでは51項目中で断然トップが中津川市民病院の現状と充実、2番目が地域医療の現状と充実で、坂下病院の現状と充実は6番目でした。

今回の中期計画のためのアンケートでは、暮らしに不安を感じていますか、との問いに「はい」と答えた人は877人で75.1%。その理由は健康（病院、介護）が40%と最も多い結果です。

- ①これらの結果についてどのように思われますか。

- ②市民の願いにどのようにこたえますか。

- ③「1つの市に2つの病院はいらない」と坂下病院の診療所化を提案。多くの市民が病院を残してと言う声を上げられました。このような状況の中でも坂下病院に残るといふ医師に「手術は市民病院に統一する」と坂下病院の手術室を廃止し、一般病床を廃止した。外から見ても無慈悲なやり方で医師を追い出しているようにしか見えな。このようなやり方をみていて恐ろしくなりました。

一般病床を残してほしいと願う住民に「医師の確保ができない」とか、「特別繰り入れで財政がひっ迫する」とか「脅し」としかと思えないやり方で坂下病院を縮小していく。この縮小の中で、どんなに悩み苦しんでいる人が多いことか、ご存じですか。

- ④坂下病院の病床の削減についてもアンケートで訊きました。結果は、削減賛成は8%、反対65%、わからない22%、その他5%と言う結果で反対が多数です。坂下病院の一般病床が廃止され、やさか地域を始めとした中津川市民、木曾南部の今まで坂下病院を利用されてきた方々は、非常に悲しがっておられます。

今からでも遅くありません。手術室の復活はできませんか。一般病床の復活はできませんか。

4、リニア区画整理事業地域内の千旦林川について

千旦林の自然を守る会の方々は、自然を守るため、水質を自費で検査に出して、住民

に結果を知らせる活動をしておられる。

千旦林川は今は大きく蛇行している。蛇行した自然の姿が生き物にはやさしい。ところが、区画整理事業の絵は千旦林川が直線になっている。

- ①川の取り付け・改修の工事はどこが行うのですか。
- ②千旦林川の取り付けの変更にかかわる手続きがどうなっているか。
- ③どこまで進んでいるのですか。
- ④千旦林川の自然を守る会の活動してこられた方々としては、大切なものを勝手に変えていくことに対して、納得できないのではないのでしょうか。どのように受け止めますか。
- ⑤河川周辺の土地所有者の方です。河川の改修等に関してまだどこからも何も言っていない。聞かれもしていないとのこと。突然、自分の土地が区画整理事業の対象地域に入り、知らない間に進んでいく。この人たちの気持ちをどう受け止めますか。
- ⑥川を直線にすることに対して水害が起きやすくなると心配している方もおられます。蛇行した川の水の勢いは直線の川に比べて緩い。直線にされた川の水の勢いは激しくカーブしたところの堤防を乗り越え、水害になる可能性も出てきます。

千旦林川も一度は直線に改修する計画だったものを、蛇行を取り入れて改修した経緯もある。直線に改修するのではなく、今の自然の形状を残して改修された方が水害に対しても良いのではないのでしょうか。いかがですか。